

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 5 月 22 日 (2014.5.22)

【公表番号】特表 2013-523292 (P2013-523292A)

【公表日】平成 25 年 6 月 17 日 (2013.6.17)

【年通号数】公開・登録公報 2013-031

【出願番号】特願 2013-503109 (P2013-503109)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/24

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 3 月 31 日 (2014.3.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 0】

カートリッジキャビティ 1 1 1 を規定するカートリッジホルダ 1 0 4 の部分は、実質的に図 1 に直径 D_1 1 3 4 で示される均一直径からなる。この直径 D_1 1 3 4 は、好ましくは、カートリッジ 1 2 0 の直径 D_2 ' 1 3 7 よりも僅かに大きい。カートリッジホルダ 1 0 4 の内部は、カートリッジホルダ 1 0 4 内のカートリッジ 1 2 0 の動きを阻止するために寸法取りされた内側に伸びる環状部分又は止め具を含む。このように、カートリッジ 1 2 0 がカートリッジホルダ 1 0 4 のカートリッジキャビティ 1 1 1 に装填され、そしてカートリッジホルダ 1 0 4 が次に投与量設定部材 1 0 2 に連結されるとき、カートリッジ 1 2 0 はカートリッジキャビティ 1 1 1 内にしっかりと保持される。より具体的には、カートリッジ 1 2 0 のネック 1 2 6 及び金属スリーブ又はフェルール 1 2 4 がカートリッジホルダ 1 0 4 の開いている近位端に遠位方向に挿入され、最終的に金属スリーブ又はフェルール 1 2 4 は完全にカートリッジホルダ 1 0 4 に入る。投与量設定部材 1 0 2 と取り外し可能に連結したカートリッジホルダ 1 0 4 では、カートリッジ 1 2 0 の近位端 1 3 2 は、典型的に投与量設定部材 1 0 2 によって提供される留め具に隣接することになる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

薬物送達システムのためのカートリッジシステムであって、以下：

外径 (2 1 0) 及び中心に位置する開口部 (2 0 4) を有する円筒形状本体 (2 0 2)

；

本体 (2 0 2) の近位端 (2 0 6) から遠位端 (2 0 8) に伸びる開口部 (2 0 4) ；

遠位端 (1 3 0) から近位端 (1 3 2) に伸びる略チューブ状のパレル (1 2 2) を含むカートリッジ (1 2 0) であって、遠位端 (1 3 0) は、内側に細まるショルダ (1 3 1)、遠位端 (1 3 0) に位置するスリーブ又はフェルール (1 2 4)、パレル (1 2 2) のショルダ (1 3 1) から遠位に突き出る小さな直径のネック (1 2 6)、及びネック (1 2 6) によって画成される開いた遠位端をわたってしっかりと取り付けられ、スリーブ

又はフェルール（１２４）によって所定の位置に保持される穿孔可能なシール又はセプタム（１２７）によって画成される；及び

上記本体（２０２）上に備えられた少なくとも１つの曲げ可能機能（２３０、９３０）；

を含んでなり；

曲げ可能機能（２３０、９３０）は第１のセクション（２３２、９３２）、第２のセクション（２３４、９３４）、及び第３のセクション（２３６、９３６）を含み、第１のセクション（２３２、９３２）及び第３のセクション（２３６、９３６）はそれぞれ本体（２０２）に取り付けられており、

該曲げ可能機能（２３０、９３０）は、その曲げ可能機能（２３０、９３０）の第２のセクション（２３４、９３４）の少なくとも一部が、本体（２０２）の外径（２１０）を越えて伸びている第１の位置（８１０）から第２の位置（８２０）に可動であり、その部分は曲げ可能機能（２３０、９３０）が第２の位置（８２０）にはめ込むまで開口部（２０４）に向かって動き、そして

該第２の位置（８２０）では、曲げ可能機能（２３０、９３０）の少なくとも一部が、開口部（２０４）がスリーブ又はフェルール（１２４）の上に置かれたときに、該カートリッジ（１２０、５００、７５０）を該本体（２０２）内に保持するために提供される、ことを特徴とする、

上記カートリッジシステム。

【請求項２】

前記本体（２０２）が、該本体（２０２）の周囲の少なくとも一部に沿って伸びるフランジ（２１４）又はフランジ環（７１０）を含む、請求項１に記載のカートリッジシステム。

【請求項３】

さらにねじ式のニードルハブを受けるように構成されたねじ山（１２１）を含む、請求項１又は２に記載のカートリッジシステム。

【請求項４】

さらに本体（２０２）の戻り止め機能（８４０）、第１の位置（８１０）から戻り止め機能（８４０）を過ぎて第２の位置（８２０）に動きそして戻り止め機能（８４０）によって第２の位置（８２０）に保持される曲げ可能機能（２３０、９３０）を含む、請求項１～３のいずれか１項に記載のカートリッジシステム。

【請求項５】

投与量設定部材（１２０）を含んでなる薬物送達デバイス（１００）；

該投与量設定部材（１２０）に固定されるカートリッジホルダ（１０４、７４０）；及び

該カートリッジホルダ（１０４、７４０）内に含まれる、請求項１～４のいずれか１項に記載のカートリッジシステム；

を含んでなる、薬物送達システム。

【請求項６】

本体（２０２）が軸方向に伸びる壁（２１２）を含み、そして本体（２０２）の軸方向に伸びる壁（２１２）の外周（２１８）には外側ねじ山（２２０）が備わっている、請求項５に記載の薬物送達システム。

【請求項７】

前記カートリッジホルダ（１０４、７４０）が前記投与量設定部材（１２０）に取り外し可能に固定される、請求項５又は６に記載の薬物送達システム。

【請求項８】

前記カートリッジ（１２０、５００、７５０）が前記カートリッジホルダ（１０４、７４０）内に取り外し可能に含まれる、請求項５～７のいずれか１項に記載の薬物送達システム。

【請求項９】

前記薬物送達デバイス（１００）が再使用可能な薬物送達デバイス（１００）を含む、請求項５～８のいずれか１項に記載の薬物送達システム。

【請求項１０】

前記投与量設定部材（１２０）が、設定投与量を前記カートリッジ（５００、７５０）から排出するための回転ピストンロッド（１０９）を含む、請求項５～９のいずれか１項に記載の薬物送達システム。